

シップヘルスケアグループ 医療従事者様サポートマーク

医療従事者の皆様に寄り添う意志を表す[プラス]のかたち、
医療従事者の皆様への感謝の意志を表す[ハート]のかたち、
医療従事者の皆様を支える強い意志を表す[!]のかたち。

それらを組み合わせたオリジナルマークは、
いかなる時でも医療従事者の皆様をサポートするという、
シップヘルスケアグループの思いを表象し、
医療従事者の皆様への感謝を視覚的に伝えるためのマークです。

第 32 期 中間報告 株主通信 [2023年4月 1日▶]
[2023年9月30日]

生命を守る人の環境づくり

 **SHIP HEALTHCARE**

シップヘルスケアホールディングス株式会社

証券コード：3360

マネジメントメッセージ



代表取締役会長

古川 國久



代表取締役社長

大橋 太

グループ理念

SHIP

Sincere (誠実な心) Humanity (「情」の心) Innovation (革新者の気概) PartnerSHIP (パートナーシップ精神)

グループミッション

生命を守る人の環境づくり

基本姿勢

し せい そく だつ
至 誠 惻 怛

「至誠」はまごころ、「惻怛」はいたみ悲しむ心を表し、この心を兼ね備えて生きることが人間としての生きる基本姿勢であり、当社グループの基本姿勢です。

2023年 スローガン

1ヒット5打点をいつも懐に!

グループ理念の実現に向けて、『進化』と

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。当社グループは、最終年度を2024年度とする3か年の中期経営計画『SHIP VISION 2024』を推し進めております。2期目となる当期(2024年3月期)は、高付加価値型の事業運営を通じて、『進化』と『成長』を着実に進めてまいります。

当上半期の連結業績について

25期連続の増収に向け、当上半期は2桁の増収増益

トータルパックプロデュース事業では、病院の新築、建て替え等のプロジェクト案件の順調な推移に加え、2022年7月にグループ入りしたキングラングループの業績が期初より寄与したことや、リニューアル案件等の一部が前倒し計上され、順調に推移しました。また、メディカルサプライ事業、ライフケア事業、調剤薬局事業も計画達成に向けて堅調に推移しました。

これらの結果、当上半期の連結業績は、売上高が前年同期比12.6%増の2,967億円、営業利益が同15.9%増の92億円、経常利益が同34.9%増の101億円と、引き続き増収増益基調を継続しております。

一方、ミャンマー連邦共和国内の当社連結子会社2社においては、軍事クーデターに端を発する多様な影響が重なり、外貨建ての回収や仕入が困難な事態となりつつあり、今後もこうした状況が継続する情勢であることから、当初想定していた超過収益力を見込めなくなったと判断し、のれんの全額相当である約26億円を特別損失として減損処理しました。その結果、当上半期の最終利益(親会社株主に帰属する四半期純利益)は前年同期比11.0%減の36億円となりました。海外事業にはこうした地政学的リスクが常に存在しますが、グループ理念「SHIP」のもと

グループミッション「生命を守る人の環境づくり」を追求し、引き続き医療環境全体の発展に貢献していく方針です。

なお、通期業績については、ミャンマー事業の影響を受けるものの、4事業の堅調な推移を背景に、25期連続の増収達成に向け、グループを挙げて収益の最大化に取り組んでまいります。

業績結果

(単位:百万円)

	2022/9 (前第2四半期)	2023/9 (当第2四半期)	増減率
売上高	263,520	296,771	+ 12.6%
営業利益	7,971	9,238	+ 15.9%
経常利益	7,498	10,116	+ 34.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,143	3,686	△ 11.0%

中期経営計画の進捗について

地域医療に新たなバリューを創出する挑戦が着実に進展

中期経営計画の達成に向けて、策定当初に掲げた4つの重要施策「コア事業の更なる高成長」、「積極的なバリューの拡大」、「機能強化戦略」、「サステナビリティに対する取組み」を複合的に推し進め、順調に進捗しております。具体的には、グループ全体の多様なノウハウを活かした「コンサルティング力」と「プロデュース力」を起点に、地域医療への高品質かつ幅広いバリュー提供の輪が着実な広がりを見せております。

『成長』はとまらない

トータルバックプロデュース事業におけるプロジェクト案件では、2病院を統合した地域基幹病院「川西市立総合医療センター」（2022年9月移転・開院）、長岡駅前の市街地再開発事業として「医療からまちづくりに貢献」することを目指した大型総合クリニック「エールホームクリニック長岡」（2023年10月開院）などの特徴的な案件を受託しました。これらは官民が連携した事例であり、「日本の地域医療を、もっと強く。」をコンセプトに今後もこのような地域連携を更に支援してまいります。また、Well-being推進事業として、「子どもの環境と未来を守る」ことを旗頭に、吹田市が管轄する小学校・中学校・幼稚園・保育園等合計84施設に関する包括管理業務を受託しました（契約期間は2023年10月～2028年3月の約5年間）。

メディカルサプライ事業では、特に、「医療DXへの取り組み強化」に注力しております。我が国の医療分野でも今、政府が新設した「医療DX推進本部」主導のもとサービスの効率化や質の向上に向けたDX化が推し進められています。こうした動きを先取りしながら、当社グループでは、SPDデータの見える化や、産官学連携による未来の医療サービス基盤創造に向けた取り組み（詳細はP.3をご参照下さい）を通じて、病院様の経営・運営改善の支援を行ってまいります。

地域医療に新たなバリューを創出する挑戦の先に、確かな社会貢献と企業価値向上の両立があり、その歩みは長期目標「連結売上高1兆円」へと確実に繋がっています。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

中期経営計画「SHIP VISION 2024」計画のフレームと目標数値

拡大するヘルスケアニーズに応えながら、高付加価値型の事業運営を推進



SHIP VISION 2024 (目標数値)	(単位：百万円)		
	2023.3(実績)	2024.3(計画)	2025.3(計画)
売上高	572,285	600,000	630,000
営業利益	21,144	23,500	26,000
営業利益率	3.7%	3.9%	4.1%

特集:医療DXへの取り組みの強化

医療分野でのDXを通じたサービスの効率化・質の向上の実現に向け、 医療DX化が加速へ

世界に先駆けて少子高齢化が進む我が国において、国民の健康増進や切れ目のない質の高い医療の提供に向け、医療分野のデジタル化による医療の「見える化」の推進が極めて重要となっています。こうした認識のもと、政府は「医療DX推進本部」を新設(2022年)し、その後、2023年6月には「医療DXの推進に関する工程表(全体像)」が示されました。今後、医療分野へのDXを通じたサービスの効率化・質の向上の実現を目指した医療DXへの取り組みが、中長期的に推し進められていきます。こうした大きな潮流に対応して、当社グループでは、既に物流データ分析ツールの開発に加え、産官連携・産学連携など、幅広い取り組みを行っています。

▼ 当社の医療DXへの取り組み事例

ツールの開発

Compass Boardを用いた SPDデータの見える化を推進

SPD業務で取得している「物流管理システムに蓄積された入庫から消費、在庫までのデータ」を活用して、病院様の経営・運営改善の支援



コミュニケーションと意思決定をサポート

導入数(2023年9月末): 84病院

産官連携

戦略的イノベーション創造 プログラム(SIP)への参画

内閣府の「総合科学技術・イノベーション会議」が司令塔となり、基礎研究から実用化、事業化までを見据えた取組を推進するプログラムの協力機関として、2023年度からの第3期「統合型ヘルスケアシステムの構築」に参画



RFIDタグによる在庫管理



RFIDキャビネット&オムニセルキャビネット



コンパスボードを用いたデータの可視化

産学連携

開発学講座の研究支援

(講座長:東京大学大学院医学系研究科 特任准教授 河添悦昌氏)

AIとICTを基軸とした新しい医療サービスの基盤開発を目的とした「東京大学大学院医学系研究科 医療AI・デジタルツイン開発学講座」の活動趣旨に賛同し、同講座への寄付を実施し研究開発を支援

医療デジタルツイン

医療フィジカル空間(現実空間)の患者情報はもとより、そこで使われる医薬品や医療材料なども含めたあらゆる医療関連事物、ヒト、設備の医療への関わり方に関する情報を、医療リアルワールドデータとして高度に構造化、標準化して統合的に集積することによって、医療をリアルタイムでサイバー空間に写像し、このサイバー空間において高度のデータ活用を行って解析結果や開発技術をフィジカル空間の改善に活用すること

トピックス

【トータルバックプロデュース事業】

「日本の地域医療を、もっと強く。」 プロジェクト案件における更なる展開事例

患者様に良質な医療を提供することを目指し、これまでに培ってきた当社グループのノウハウを集結し、多数の病院プロジェクトを完成させました。その中でも特徴的な官民の複合型プロジェクト案件を2件ご紹介いたします。

兵庫県

川西市立総合医療センター

(2022年9月移転・開院)



SHIP HEALTHCARE 生命を守る人の最前線

兵庫県の市立川西市病院と協立病院の2病院が統合、2022年9月に移転・開院した地域の基幹病院。

新潟県

エールホームクリニック長岡

(2023年10月開院)



外観



待合室

内科、皮膚科、リウマチ科・膠原病科、アレルギー科、呼吸器内科、総合診療科がそろった大型総合クリニック。
新潟県長岡駅前大手通地区の市街地再開発事業として、医療からまちづくりに貢献。

【調剤薬局事業】

店舗拡大・LINEアプリを活用 集患及び患者様の利便性向上

新規出店及び小規模なM&A等により、店舗数を確実に拡大させるとともに、グループ全体での購買の効率化や、管理ITシステムの共通化等を行うことで、利益率の改善及び業務の効率化・顧客満足度の向上に向けて着実に事業成長を進めています。その一例として、専用のLINEアプリケーションを活用・普及させることで、調剤の際の患者待ち時間短縮や、薬剤師等スタッフの業務量の平準化にも寄与しています。今後もより一層の登録者の増加に取り込んでまいります。

▼ 効率性を重視した着実な店舗拡大

調剤薬局	2021.3	2022.3	2023.3	2023.9
店舗数	115	119	123	126

新規出店



リリア薬局多摩丘陵店(東京都)



みどり薬局学園都市店(兵庫県)

M&Aにより
参画



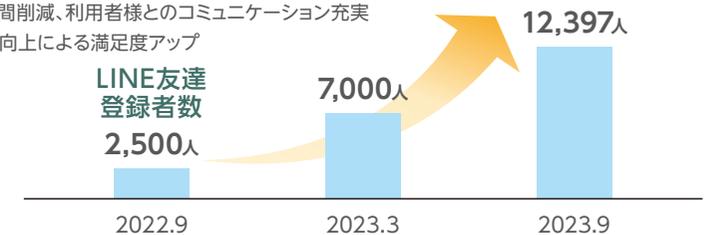
ひきふね薬局(東京都)



キャッスル調剤薬局(秋田県)

▼ LINEアプリを活用した利便性の向上

- ▶ 待ち時間削減、利用者様とのコミュニケーション充実
- ▶ 利便性向上による満足度アップ



トピックス

日経 地方創生フォーラムに登壇

2023年10月10日～10月12日の3日間、東京ミッドタウン八重洲カンファレンスにおいて「日経 地方創生フォーラム」が開催されました。2日目の「官民連携と共創」をテーマに当社代表取締役会長古川が登壇し、「地域の成長なくして、国の成長はない」ということで、地域の中核病院をサポートしてだけでなく、人々がより良く生きるために、医療、介護、健康、環境、教育までも含めてトータルで、地域と協力して考えていかなければならないと論じました。大勢の皆さまにご参加ならびにご視聴いただきありがとうございました。

今後とも、このようなフォーラムやイベント等を通じて、ステークホルダーの皆さまとお会いする機会に積極的に参加してまいります。



2023年10月11日10:00 東京ミッドタウン八重洲カンファレンス
当社代表取締役会長 古川による講演

SHIP理念を基礎とした人財育成

当社グループは、創業以来グループ理念「SHIP」のもと、「生命を守る人の環境づくり」をグループミッションに定め、これを土台としてこれまで多くの新たな会社、人財を迎え入れ、グループ一丸となって、様々な問題や課題に取り組み、「進化」と「成長」を続けてきました。

この価値観の共有を土台にして、当社グループの競争力の源泉である「コンサルティング力」+「プロデュース力」の開発・人財育成を通じて、業界のリーディングカンパニーとして引き続き成長してまいります。



株主アンケート集計結果

アンケートへのご協力ありがとうございました。

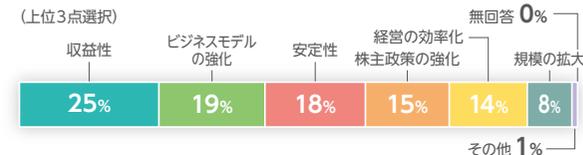
第31期株主通信において株主の皆様へのアンケートを実施いたしました結果、423名の方々よりご回答を頂戴いたしました。ご協力を心より感謝申し上げます。

集計結果や株主の皆様のお声の一部を、ご紹介いたします。

▼ 当社株式の今後の保有方針をお教えてください。



▼ 当社経営に関して、何を重視すべきと思われますか？



▼ その他ご意見

- 安定的な経営・財務・配当を期待しています。
- より一層、がん治療の推進にガンパってください!期待しております。
- 社会への貢献が目に見える形でされている。応援していきたい。
- 理念・構想・今後の社会にあった展望はよくわかり、株を持っている。今後は収益力・効率を高め、1株あたりの利益の向上を強力に望みます。
- SDGsの実現と医療の革新・発展に努めてください。

今回のアンケートにおきましても、株主の皆様より多くのご意見・ご要望を頂戴いたしました。今後もシップヘルスケアグループへのご理解をより一層深めていただけますようIR活動にも積極的に努めてまいります。アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

業績の概要

▼ 主な経営指標の推移[日本基準](連結)

(単位：百万円)

	2021/3	2022/3	2022/9	2023/3	2023/9 当第2四半期	2024/3 (通期予想)
売上高	497,156	514,353	263,520	572,285	296,771	600,000
営業利益	21,800	20,505	7,971	21,144	9,238	23,500
経常利益	21,761	21,287	7,498	20,607	10,116	23,500
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	12,280	12,172	4,143	12,063	3,686	12,500
総資産	334,498	335,074	360,355	381,977	375,250	—
純資産	115,103	122,318	125,267	131,115	132,709	—

※「収益認識に関する会計基準」等を2021年第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期以降に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。また、2021年3月期以前の各数値は当該会計基準等を遡及適用しておりません。

※2023年11月10日開示「2024年3月期第2四半期連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、2024年3月期の通期業績予想を修正しております。

▼ セグメント情報 (2023年4月1日～2023年9月30日)

トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、プロジェクト案件が堅調に推移いたしました。メーカー系における電装部品の長納期化の影響は、引き続き継続しているものの、前期に比べると緩和されました。また、重粒子線がん治療施設においては、2022年4月から保険適用対象部位が拡大したことにより新規外来受診者数及び治療件数が増加いたしました。更に、昨年7月にグループ入りしたキングラングループの業績が、当期は第1四半期連結累計期間より寄与いたしました。この結果、売上高は56,665百万円(前年同四半期連結累計期間比16.5%増)、セグメント利益(営業利益)は3,443百万円(前年同四半期連結累計期間比28.3%増)となりました。

メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、原材料価格や人件費高騰の影響を受けた一方で、手術症例数が増加したこと等により診療材料需要が回復いたしました。この結果、売上高は205,922百万円(前年同四半期連結累計期間比11.5%増)、セグメント利益(営業利益)は2,800百万円(前年同四半期連結累計期間比4.2%増)となりました。

ライフケア事業

介護サービスにおきましては、光熱費高騰の影響を受けた一方で、引き続き高い入居率を維持いたしました。また、食事提供サービスでは前期にグループ入りした企業の業績が寄与したこと等により食品価格の高騰を乗り越えて増収となりました。この結果、売上高は18,010百万円(前年同四半期連結累計期間比16.4%増)、セグメント利益(営業利益)は1,293百万円(前年同四半期連結累計期間比16.3%増)となりました。

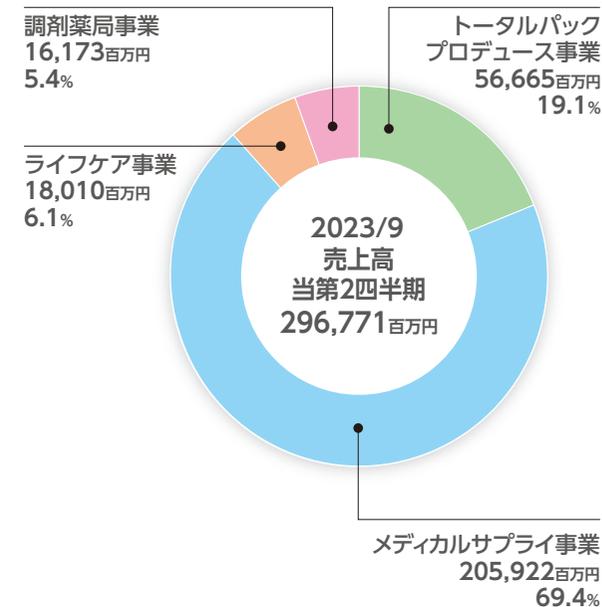
調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、新規出店及び小規模なM&A等により、業績は堅調に推移いたしました。この結果、売上高は16,173百万円(前年同四半期連結累計期間比9.9%増)、セグメント利益(営業利益)は1,676百万円(前年同四半期連結累計期間比18.1%増)となりました。

▼ 業績トレンド



▼ セグメント別売上高構成比



会社情報

(2023年9月30日現在)

会社概要

商号 シップヘルスケアホールディングス株式会社
 設立 1992年8月
 代表取締役会長 古川 國久
 代表取締役社長 大橋 太
 資本金 155億5,301万円
 決算月 3月
 従業員数 連結 8,191名(正社員) 17,175名(従業員)
 本社所在地 〒565-0853
 大阪府吹田市春日3丁目20番8号
 TEL : 06-6369-0130
 FAX : 06-6369-3191

役員

代表取締役会長	古川 國久
代表取締役副会長	小西 賢三
代表取締役副会長	小川 宏隆
代表取締役社長	大橋 太
専務取締役	横山 裕司
常務取締役	海野 正史
取締役	島田 正司
取締役	安田 芳郎
取締役(社外)	佐野 精一郎
取締役(社外)	今別府 敏雄
取締役(社外)	伊藤 文代
取締役(社外)	西尾 信也
常勤監査役	戸田 成重
監査役(社外)	大山 博康
監査役(社外)	佐野 信行
監査役(社外)	南 浩一

お問い合わせ・資料請求等は、下記まで・・・

シップヘルスケアホールディングス株式会社

〒565-0853 大阪府吹田市春日3丁目20番8号
 TEL : 06-6369-0130 (IR窓口) FAX : 06-6369-3191

URL(ホームページアドレス)

<https://www.shiphd.co.jp/>



株式関連情報

(2023年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数.....128,000千株
 発行済株式総数.....101,669千株
 株主数.....4,124名

株式分布状況

株式分布状況(株主数別)



個人・その他	3,759名	91.15%
外国法人等	258名	6.26%
その他法人	49名	1.19%
金融機関	31名	0.75%
金融商品取引業者	26名	0.63%
自己名義株	1名	0.02%

株式分布状況(株式数別)



外国法人等	34,169千株	33.61%
金融機関	31,082千株	30.57%
個人・その他	16,213千株	15.95%
その他法人	12,383千株	12.18%
自己名義株	7,319千株	7.20%
金融商品取引業者	502千株	0.49%

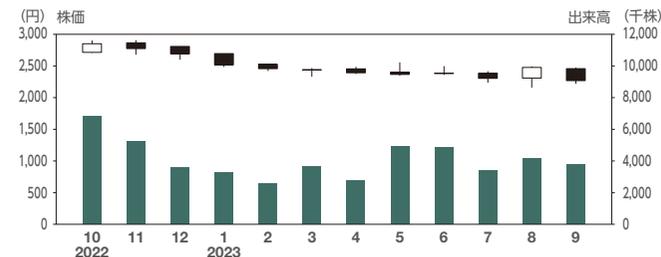
※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

大株主の状況

	[持株数]	[持株比率]
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	14,160千株	15.01%
株式会社ココロ	7,977千株	8.46%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	7,718千株	8.18%
JP MORGAN CHASE BANK 380055	3,750千株	3.98%
GOVERNMENT OF NORWAY	3,147千株	3.34%
全国共済農業協同組合連合会	3,052千株	3.23%
春日興産合同会社	2,800千株	2.97%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505025	2,766千株	2.93%
古川 國久	2,473千株	2.62%
古川 幸一郎	2,460千株	2.61%

※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。※ 持株比率は、自己株式を控除して算出しております。

株価・出来高の推移



株主メモ

事業年度 4月1日～3月31日
 期末配当金受領株主確定日 3月31日
 定時株主総会 毎年6月中
 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 TEL 0120-094-777(通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所

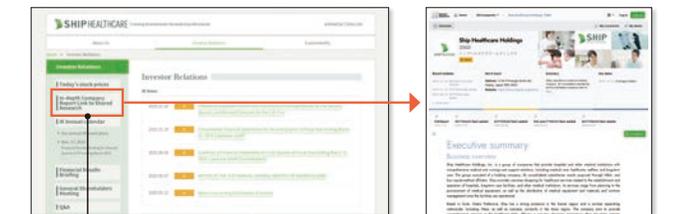
公告の方法 電子公告によりおこなう
 公告掲載URL <https://www.shiphd.co.jp/>
 (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

英文ホームページはこちら <https://www.shiphd.co.jp/en/>
English website

For Foreign Investors
 SHIP HEALTHCARE HOLDINGS, INC. provides English financial report produced by Shared Research Inc.
 Please check <https://sharedresearch.jp/en/3360> to view the report.



In-depth Company Report Link to Shared Research